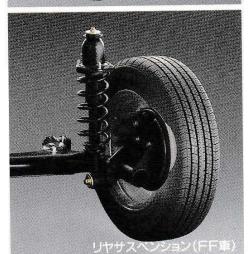




ECOLOGY & TECHNOLOGY 2

アルデオは快適な乗り心地によって、いつまでも愛され続けるクルマを目指すだけでなく、いつかは訪れるリサイクルの時に向けた取り組みもしっかりと行っています。再生を前提として開発された特殊な樹脂を広範囲に使用したり、解体時の分別がスムーズにできるよう、素材ごとにマーキングを行うなど、さまざまな角度から資源・環境対策を実施しました。

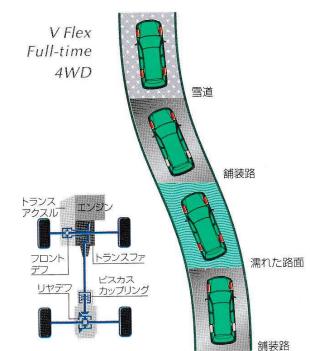
フロントサスペンション Lアームマクファーソンストラット式サスペンションを搭載。たっぷりとしたホイールストロークを確保した上で、ホイールレートを最適化し、乗り心地を高めました。防振サブフレームにより静粛性も向上。スタビライザーの効率を高めることにより、高いロール剛性も確保しています。優れた快適性と高い操縦安定性を見事に両立。また、ステアリングギアボックスの配置を工夫するなど、ジオメトリーの最適化によって自然な操舵感も実現しました。



リヤサスペンション FF車にはイータピームサスペンション(トーコントロールリンク付トーションピーム式)を採用。トーコントロールリンクの働きによって、乗り心地と操縦安定性を高いレベルで両立させたほか、ボディへの振動の伝達を遮断することでロードノイズを大幅に低減しています。一方4WD車には、ダブルウイッシュボーンサスペンションを新開発しました。アーム類の最適配置などによって十分な剛性を確保し、しなやかな乗り心地と高い運動性能を実現。防振サブフレームの採用によって優れた静粙性も達成しました。なお、どちらのサスペンションも、アブソーバーを外側の低い位置に取り付けることで、室内およびラゲージスペースの大幅な拡大に貢献しています。



Vフレックスフルタイム4WD 通常はほぼ前輪で駆動。前後輪に回転数差が生じた場合にのみ、後輪に必要な駆動力を配分する4WDシステムです。常に4輪に駆動力を配分するフルタイム4WDに比べて大幅なコンパクト化を図ることができます。燃費の面でもメリットがあります。



リサイクルへの取り組み アルデオは、リサイクルを前提として開発された樹脂T.S.O.P.(Toyota Super Olefin Polymer)を、バンパーやインストルメントパネル、コンソールボックスなどに幅広く使用しています。また、解体に時間がかかるワイヤーハーネス、シート、エンジンアンダーカバーなどの部品の解体性を向上させたり、エンジンオイル、LLC、ATFなどの環境負荷液体を、解体時により容易に抜き取ることができるような構造を採用するなど、さまざまな角度からリサイクルのための工夫を実施しています。さらに、環境負荷物質の低減にも積極的に取り組み、水銀やアジ化ナトリウムを全廃したほか、ボディや部品に使用される鉛の量も大幅に削減しました。



●舗装路での直進走行時は、ほぼ前輪駆動状態で、快適な走り。
●急進・加速・旋回時や濡れた路面、未舗装路、雪道などでは、4WD状態となり、高い安定性を発揮。